

採用

SDGs活動を インターンシップで紹介

環境意識高い大学生をターゲットに採用活動

エコワークス[福岡市]

工務店業界では、いち早くSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを宣言したエコワークス(福岡市、小山貴史社長)は、8月7日に大学3年生を対象とした「SDGs体験型インターンシップ」を実施した。住宅とSDGsをテーマにした広告制作を体験する、業界初の試みだ。業務・職場体験にとどめず、同社の環境活動と結び付けながらSDGsを周知して、学生に新しい価値観を提供することを目指す。

SDGsが共通言語になる

同社は毎年、熊本大学から建築系学生のインターンシップを受け入れているが、今回はそれとは別物。社長の小山さんが採用活動に際して掲げている「環境就職」の概念に基づき、新たな取り組みのひとつに位置づけている。

環境就職という言葉には、設計や現場監督、営業などの職種ではなく、「環境活動を展開しているかどうかを基準にして、就職先を選びませんか」という学生に対するメッセージが込められている。企業にとっては、建築だけではなく、環境への意識も高

い学生の採用につなげられるメリットがある。

小山さんが合同説明会で学生にヒアリングしたところ、SDGsの認知度は現状で約15%。教育でも取り上げられる機会は増えており、「いずれはSDGsが当たり前の世代が出現する。SDGsに取り組むと、学生との“共通言語”を持つことにもなり、共感も得られ、結果的に採用にも有効に働く」と小山さんは話す。

グループワークを プログラムの中心に

インターンシップに参加したのは、福岡や長崎の大学に通う、5人の女



小山社長(右)、松浦さん(左奥)とインターンシップに参加した学生たち

子学生。同社業務推進室室長の松浦哲也さんによると、「インターンを希望するのは女子学生が多い」という。また、5人中3人は文系学部の学生だ。

まずは松浦さんが、同社の事業内容や家づくりの理念、SDGsへの取り組み方などを講義。続いて、同社の採用活動をサポートしている浅野英徳さん(LITA代表)の指導のもと、チームワークやパートナーシップの重要性を体感するためのゲームを、2組にわかれて行った。

ゲームで緊張感もほぐれたところで、いよいよメインプログラムのグループワーク「エコワークスのSDGs

な住まいづくりを紹介する新聞広告」づくりに取り掛かった。キャッチコピー、その他の文章からレイアウトまで、学生たち自身が話し合いながら、約2時間をかけて広告の案を制作。最後は、小山さんらを前にプレゼンテーションを行った。

共感や気づきを双方が得る

学生らの発表を聞いた小山さんは「今の環境を次世代に残したいという私たちの理念と、同じ価値観を持つ若い人がいることは心強い」と述べた。また、参加した学生のひとり「環境問題に関するアプローチの手段として、住まいの影響が大きいことを実感した」と話しており、双方とも大きな気づきを得られたようだ。

今回のインターンシップは、SDGsに重きを置いた内容だったため、工務店の実際の仕事内容を理解するためのプログラムも企画している。9月中旬には、完成見学会での接客や、社内で希望職種を体験する、3日間のインターンシップを実施する予定だ。



エコワークスの仕事について説明を受ける



あっという間に打ち解けて一丸となって課題に励む学生たち

PW
プレミアムウッドシリーズ

NEW

錆に強いリアルな木目の出隅材登場
「PWカバー出隅」



PWシリーズの特長

リアルな木目 | 高い耐久性 | 薄くて軽い
3色展開 | 専用金具で固定

GAISO

[製品に関するお問い合わせ] 0120-106011 9:00~12:00/13:00~16:00 (土・日・祝を除く)

城東テクノ株式会社 | 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目14番地1 | Tel.072-868-6611(代) Fax.072-868-6687(代)

http://gaiso.joto.com